

科目名	音楽ビジネス・マネージメント2							年度	2024
英語科目名	Music Business Management-2							学期	後期
学科・学年	コンサート・イベント科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	志塚昌紀・矢野正樹			教員の実務経験	有	実務経験の職種		イベント企画制作	
【科目の目的】									
音楽業界に就職する祭に必要となる業界知識やビジネスマナーに関わることを学ぶ。具体的には、以下の2点を科目の目的として設定している。									
①【プレゼンテーション】より実践的なコミュニケーションの能力として、就職活動やビジネスの現場で扱えるようなプレゼンテーションのノウハウやスキルの取得。									
②【業界基礎知識】エンターテインメント業界の現状を理解し、実践的な知識や伝える力の取得。									
【科目の概要】									
本科目では、ビジネス・マネージメントをビジネスパーソンとして社会に出て行く上で必要となるジェネリックスキルとして理解し、音楽やイベント業界をはじめとした多様な仕事の現場で通用する社会人基礎力を身につけていく。より実践的なビジネスマネジメントスキルとして、「前に踏み出す力（アクション）」、「考えぬく力（シンキング）」、「協力する力（チームワーク）」の向上を目指し、通常の講義に加え、受講生同士による相互の学び合いを重視し、演習も交えた内容となっている。									
【到達目標】									
A：前に踏み出す力（アクション）によって、積極性と実行力が備わっている。									
B：考え抜く力（シンキング）によって、深い分析と論理性、創造性が身についている。									
C：協力する力（チームワーク）によって、共感と協調を理解している。									
D：発表する力（プレゼンテーション）によって、説得する知識と表現する力を持っている。									
E：エンタメ業界の基本を理解し、データ分析、他者に伝えることができる基礎的能力が身についている。									
【授業の注意点】									
時間意識を強く持ち、授業開始時には着席をして、ノートが開かれシャープペンの芯が出ている状態でスタートする。分からない事柄や言葉は記録し、その日のうちに解消する。自分の意見、発想、アイデンティティを持つには経験と時間、数多くの引き出しを得ることが重要である。そのためには、よく考えるということを意識して授業に取り組むことが大切である。各自の知的好奇心を持って、自分なりの考察を試みる事が重要である。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	自発的に意見・質問を提出。他の学生の学びにも良い影響を与える。	授業で意欲的に取り組み、定期的に質問やコメントをする。	基本的な参加はするが、自発的な発言は限定的。	消極的で、教師の促しや指示がないと発言が少ない。	ほとんど参加せず、教師の促しにも反応に限られる。				
到達目標 B	問題に対して独創的な解決策を提案し、論理性を伴う深い思考を行う。	論理的に考え、合理的な解答を見つける。	基本的な問題解決は可能だが、複雑な課題では苦勞する。	単純な問題解決はできるが、深い思考は難しい。	基本的な問題解決にも苦勞し、考える深さが不足している。				
到達目標 C	自発的に行動し、積極的に協力。困難な課題でも解決策を探索する。	自らタスクを引き受け、共同での課題解決に積極的に貢献。	指示された役割を遂行し、協力するが、自発的な行動は限定的。	貢献が一定程度にとどまり、新しい行動を起こすことが少ない。サポートや促しに依存。	消極的で、自発的な行動を起こすことがほとんどない。他からの促しや指示が必要。				
到達目標 D	明確かつ効果的にアイデアを伝え、聴衆を引き付ける。	考えをはっきりと伝え、聴衆の注意を引くことがある。	基本的なプレゼンテーションはできるが、時に不明瞭になる。	アイデアの伝達に苦勞し、表現が不明確なことがある。	自分の考えを伝えるのが困難で、理解されにくい。				
到達目標 E	データを活用して業界の分析ができ聴衆に伝えることができる。	データを活用して業界の分析をすることができる。	業界の現状を多角的に理解することができる。	業界の現状を一元的に理解することができる。	業界の現状理解ができていない				
【教科書】									
必要に応じて資料を配布する。毎回前回講義のまとめを配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
授業目的を反映した試験により点数により評価をする。単元時に実施する課題の内容、取り組み方、丁寧な表記、正確な文字を評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		音楽ビジネス・マネージメント2				年度	2024
英語表記						学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	音楽市場の現状	現在の音楽市場の動向を理解する	1	市場規模	市場規模を理解する	1	
			2	市場規模の推移	市場規模の推移を理解する		
			3	市場の内訳	市場の内訳を理解する		
2	後期授業オリエンテーション・言葉を書くスキル	プレゼンの考え方を再確認し、文章を作るスキルを身につける。	1	プレゼンの考え方	良いプレゼンの要素を再確認する	1	
			2	言葉を書くスキル	日本語の特徴を理解する。		
			3	ペアワーク	正しい文章を作るスキルが身についている		
3	音楽市場のユーザーの現状	現在の音楽市場のユーザー動向を理解する	1	ユーザー理解	ユーザーを理解する	1	
			2	音楽関連支出	音楽関連支出を理解する		
			3	今後のニーズ動向	今後のニーズ動向を理解する		
4	日本語のマナー・説得力を高める言葉のスキル	正しい日本語マナーを身につけ、言葉の説得力を身に付ける	1	日本語のマナー	正しい日本語マナーを理解する。	1	
			2	説得力を高める言葉	説得力を高める、文章テクニックを身につける		
			3	ペアワーク	言葉のマナーにおいて心がける点を理解する		
5	音楽ビジネスモデルの変化	ビジネスモデルの変化を理解する	1	サブスク	サブスクについて理解する	1	
			2	音楽ソフトと配信	音楽ソフトと配信の現状を理解する		
			3	他国との比較	他国との違いを理解する		
6	アイデアを生み出すスキル・合意形成のスキル	チームでアイデアを生み出し、まとめていくスキルを身につける	1	アイデアを生む	チームでアイデアを生むスキルを身につける	1	
			2	合意形成	意見を合意する為の考え方を理解する		
			3	ペアワーク	合意する為のテクニックを身につける		
7	データの見方	データを適切に使用できる	1	注目する点	注目する点を理解する	1	
			2	掲載時の注意	掲載時の注意を理解する		
			3	不適切利用	不適切利用を理解する		
8	印象力を高めるスキル・グループワーク	相手に印象付けるためのスキルを身につける。	1	導入時のつかみ	導入時の聴き手への「つかみ」を身につける	1	
			2	質疑応答	質疑応答のマネジメントについて理解する		
			3	グループワーク	グループでプレゼン内容の向上に目を向ける		
9	ビジネス用語	ビジネス用語を理解する	1	ビジネス用語の理解	ビジネス用語を理解している	1	
			2		ビジネス用語の使用時がわかる		
			3		ビジネス用語を使用できる		
10	アンケート作成スキル・テキスト分析	データを収集し、分析するスキルを身につける	1	アンケート作成	ネットでデータ収集をする方法を理解する	1	
			2	テキスト分析	テキストデータを分析する方法を理解する		
			3	グループワーク	データ収集と分析をする方法を身につける		
11	マーケティング・視聴率	ビジネス法則や視聴率についてを理解する	1	年齢区分	年齢区分を理解する	1	
			2	ビジネス法則	ビジネス法則を理解する		
			3	視聴率	視聴率について理解する		
12	プレゼンテーション大会(グループ)①	プレゼンテーションの実施を通じ、学んだことを実践	1	プレゼン実践	学んだことを生かし、プレゼンの実践ができる	2	
			2	プレゼン評価	プレゼンテーションを聞き、評価できる		
			3	プレゼン講評	講評を真摯に受け止めることができる		
13	プレゼンテーション大会(グループ)②	プレゼンテーションの実施を通じ、学んだことを実践	1	プレゼン実践	学んだことを生かし、プレゼンの実践ができる	2	
			2	プレゼン評価	プレゼンテーションを聞き、評価できる		
			3	プレゼン講評	講評を真摯に受け止めることができる		
14	プレゼンテーション大会(グループ)③	プレゼンテーションの実施を通じ、学んだことを実践	1	プレゼン実践	学んだことを生かし、プレゼンの実践ができる	2	
			2	プレゼン評価	プレゼンテーションを聞き、評価できる		
			3	プレゼン講評	講評を真摯に受け止めることができる		
15	後期授業まとめ	後期授業を振り返り、試験に向けて復習ポイントを確認	1	試験概要	後期試験について理解できている	2	
			2	プレゼンテーション	後期授業の内容が復習できている		
			3	業界基礎知識	後期授業の内容が復習できている		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等